

イ 本エリアにおけるジオツーリズム例

讃岐の石の文化を巡るジオツアー

ジオツーリズム モデルコース

讃岐の石文化

讃岐平野には屋島に代表される台形状の地形や、讃岐富士と呼ばれる飯野山のように円錐形の山々が点在するなど、独特の地形が広がっている。この地形は約500万年から1000万年前の火山活動によって形成。溶岩が冷えて固まった火山岩類は浸食に強いため、山頂に残り独特の地形をつくった。また、香川県では古来から庵治石やサヌカイトなど、この地域独特の火成岩を産出している。この石の文化と、それにまつわる香川県ならではの文化に触れながら旅をしたい。



1 目 目	JR丸亀駅	車で10分	①飯野山	→	②讃岐うどんを味わう
			→	③五色台	車で5分
2 目 目			→	④瀬戸内海歴史民俗資料館	車で5分
			→	⑤香川県自然科学館	車で20分
				高松市内(泊)	
	高松市内	R11 車で15分	⑥四国民家博物館(四国村)	車で10分	⑦屋島
			→	⑧第84番札所屋島寺・宝物館	車で30分
			→	⑨第85番札所八栗寺・五剣山	
			→	⑩石の民俗資料館	車で10分
				JR古高松南駅	



①飯野山(讃岐富士)



②讃岐うどんを味わう



⑦屋島



⑨第85番札所八栗寺



⑩五剣山



⑩石の民俗資料館

①飯野山

標高422mながら、讃岐平野の中でもバツグンの存在感があり、別名讃岐富士と呼ばれている。初心者でも約1時間で山頂に到着できる。

⑤香川県自然科学館

自然界の出会いと驚きを様々な形で紹介しており、科学と自然への好奇心をくすぐる。地質展示室にはサヌカイトなどの展示がある。

⑧第84番札所屋島寺・宝物館

天長6年(829)、弘法大師空海の開基といわれる八栗寺。背後には宝永の地震で山頂が崩れたといわれる五剣山がそびえている。

②讃岐うどんを味わう

良質の原材料がこの地でとれたほか、良質の地下水が豊富にあったことなど、香川県の地質がうどん文化をつくりあげた。

⑥四国民家博物館(四国村)

四国各地から移築復元した23棟の古い建築物や民具を昔のままに保存。施設内を歩けば、まるで四国をぐるりと巡った気分になる。

⑩石の民俗資料館

庵治石で有名なこの地に伝わる石材加工技術や古い道具類を、ジオラマやAVライブラリーなどで分かりやすく展示、紹介している。

③五色台

長く激しい火山活動の後、風化、浸食を受け続け、メサ・ビュート状地形を形成。今では香川県屈指のレジャースポットになっている。

⑦屋島

安山岩より成る溶岩台地で、浸食によりメサを形成。瀬戸内海随一の眺望を誇り、源平合戦の槍舞台としても有名である。

④瀬戸内海歴史民俗資料館

ヨーロッパの古城を思わせる石造りで、貴重な考古、歴史、民俗の資料およそ12万点が収蔵され、そのうちの2300点余りを展示。

⑧第84番札所屋島寺・宝物館

源平合戦の古戦場として名高い屋島の山上にあり、宝物館にはこの寺に伝わる寺宝のほか、源平合戦の遺品などを展示している。

讃岐平野 エリア内のガイドグループ活動状況

○栗林公園ボランティア

- ・主 な 活 動：栗林公園内 観光案内・観光ボランティア
特別名勝栗林公園の歴史・見どころなどをわかりやすく紹介
- ・ガイド体制：ガイド10名
- ・ガイド料金：無料（入園料必要）
- ・連 絡 先：〒760-0073 香川県高松市栗林町1丁目20-16
栗林公園観光事務所1901-1
TEL：087-833-7411 FAX：087-833-7420

○香川善意通訳の会（香川SGG）

- ・主 な 活 動：香川県内・高松市内
語学ボランティア通訳会。青い国、四国香川の代表的観光地
（栗林公園・屋島・金刀比羅宮・瀬戸大橋他）を案内
- ・ガイド体制：ガイド20名
- ・ガイド料金：5,000円（ガイド1名につき4時間以内、4時間を超える場合
10,000円）時間帯により昼食代要。交通費依頼者負担
- ・連 絡 先：〒761-0111 香川県高松市屋島東町1095-101
TEL：087-843-9770 FAX：087-843-9770

○高松市観光ボランティアガイド協会

- ・主 な 活 動：玉藻公園・屋島山上・サンポート高松案内
高松市を訪れる観光客に市内の歴史・文化・自然及び物産な
どの各分野について高松の豊かな魅力をより深く知ってもら
うため、心を込めて温かく観光客とふれあえるようボランテ
ィアで観光ガイドを行う
- ・ガイド体制：ガイド約10名
- ・ガイド料金：無料
- ・連 絡 先：〒761-7185 香川県高松市番町1丁目8-15
TEL：087-839-2416 FAX：087-839-2440

讃岐平野 ガイド養成テキストブック(案)

○テキストブック目次(案)

- | | | |
|----------------------------|-----------|--------------|
| 1. ジオパークの考え方 | 2. ガイドマナー | 3. 地域の概要 |
| 4. 地域資源の解説 | 5. モデルコース | 6. ちょっと寄り道情報 |
| 7. 交通アクセス | 8. 地図 | 9. Q&A |
| 10. 周辺情報(飲食店の営業時間、駐車場情報など) | | |

○地質資源の解説(案)



五剣山

【解説ポイント】

- ・庵治花崗岩を基盤とする標高 366.2m の山
- ・麓の八栗寺では花崗岩と凝灰岩の不整合面が観察可
- ・弘法大師空海の 5 剣の伝説
- ・宝栄地震(1707 年)により東側の 2 峰が崩壊
- ・空海が見た五剣山の姿と現代の姿は異なる!?



屋 島

【解説ポイント】

- ・浸食により形成された台地(標高 293m)
- ・基盤岩は黒雲母花崗岩
- ・源平古戦場として国の史跡に指定
- ・屋島寺には白い凝灰岩が露出。別名「雪の庭」と呼ばれ、秋には紅葉が映えて美しい



屋島から見た採石場

【解説ポイント】

- ・最高級の石材といわれる庵治石の産地
- ・石材加工品の三大産地の一つ
- ・世界ジオパークの中には石切り場や鉱山跡など産業遺産も含まれる



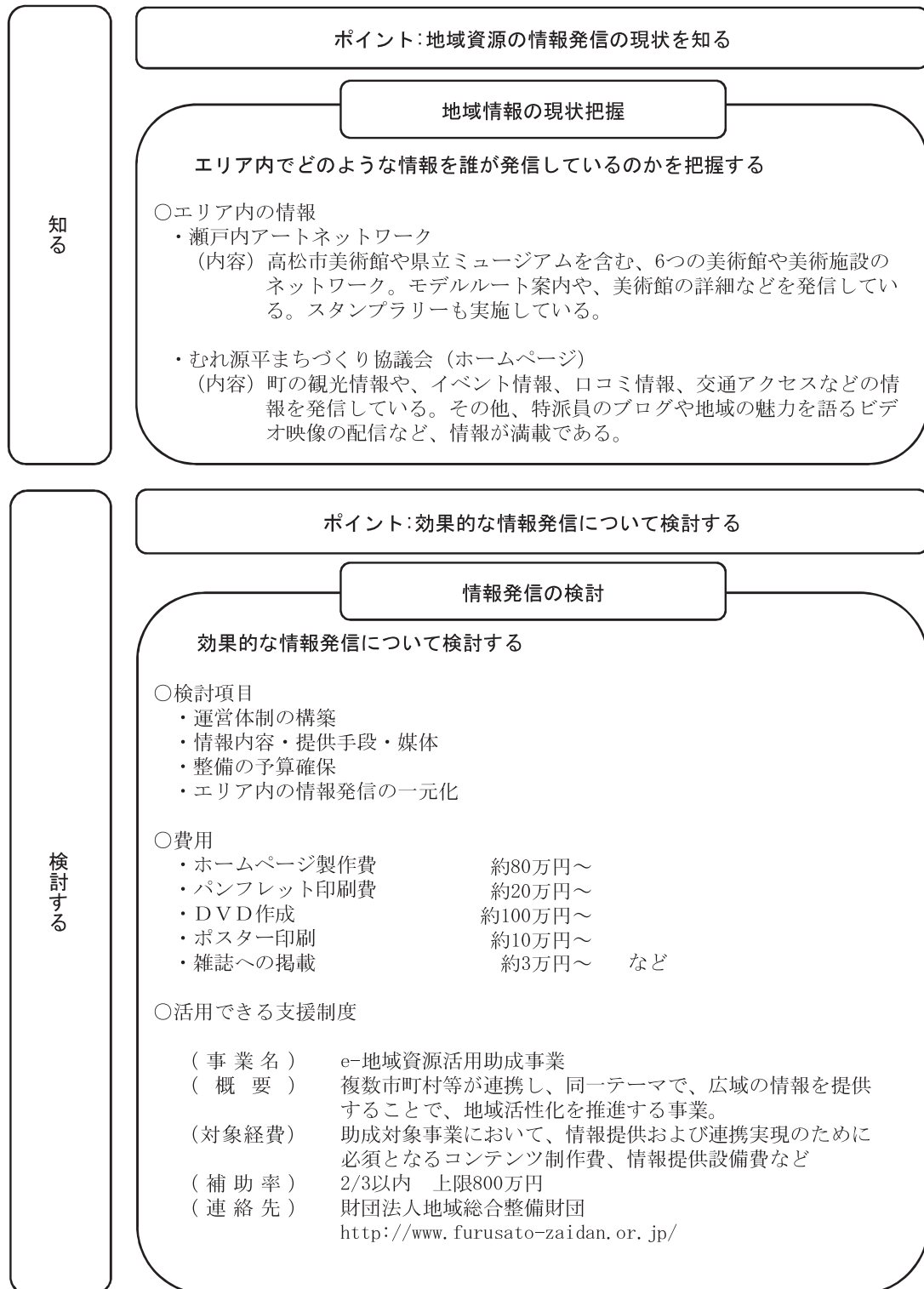
讃岐うどん

【解説ポイント】

- ・讃岐うどんの店の中讃地区、高松地区に多く分布する
- ・地下水の豊富な扇状地が発達
- ・讃岐の地質図を持ってうどん名店巡りをすると、おいしい理由がわかる

(5) 広報・情報計画

○今後の取り組み



ポイント：多様な手段で戦略的に情報を届ける

情報発信

ジオパークに関連する地域の情報を戦略的に発信する

○効果的な情報発信（案）

・観光の行動・場面に適した3段階の情報提供

①観光客が計画を立てる段階での情報提供

- 必要な情報：その土地の魅力、宿泊施設、旬の情報、多様な体験メニュー、アクセス方法、かかる時間と費用、口コミ情報など。
- 提供手段：パンフレット、市販のガイドブック・旅行雑誌、ホームページ、インターネットなど。

②移動中の情報提供

- 必要な情報：乗り継ぎや時刻表、案内表示、地図、飲食店、休憩場所など。
- 提供手段：空港や駅などの交通結節点やサービスエリア、道の駅などでのパンフレットや案内地図の配布。カーナビゲーション、携帯電話版ウェブサイト、ラジオなど。

③観光地での情報提供

- 必要な情報：迷わずに安心して観光を楽しめる現地地図、経路案内、休憩場所など。観光客の発見や感動を誘導する情報提供など。
- 提供手段：案内看板やサインを地域の要所に設置、観光案内所における口頭での案内、パンフレット、案内地図、携帯電話版ウェブサイトなど。

○参考事例・情報

①観光客が計画を立てる段階での情報提供

・鎌倉日和

（内容）鎌倉・江の島の自然、文化、人々の暮らしや風情を動画を用い、インターネット限定で発信している。アロハス株式会社と江ノ島電鉄株式会社、カシオ計算機株式会社が協力して作成。

<http://www.enoden.co.jp/kamabi/index.html>

・ふるさと情報プラザ（（財）地域活性化センター）

（内容）東京都千代田区有楽町にあり、観光、物産、イベントなど様々な分野のパンフレットを都道府県市区町村別に無料で展示。地域の産品や観光のプロモーションを実施する地方自治体に、無料でスペース提供などの支援。

<http://www.chiiki-dukuri-hyakka.or.jp/plaza/index.htm>

②移動中の情報提供手法

・南阿波まるごとナビ（農林水産省：農山漁村地域力発掘支援モデル事業）

（内容）マイカー利用の県外客らが迷いやすい交差点などに専用のFM電波発信器を設置し、FM電波を利用した地元の情報提供している。カーラジオの周波数を合わせ、発信器に近づくと、音声で道案内やイベント情報など周辺の観光情報が流れる。

・交通結節点の活用

（内容）レンタカー会社や道の駅などで地域の案内地図を配布する。

③観光地での情報提供手法

・大阪まちあるき音声観光ウォーキング

（内容）音声による観光ガイドをインターネット閲覧ソフトからダウンロードしてiPodなどの携帯オーディオプレーヤーに取り込む事で、大阪の観光、歴史スポットをより深く知り楽しむことができる。

・現地で情報提供

（内容）飲食店のランチョンマットに案内地図をプリントする。

発信する

参考事例・情報

○エリア内の情報発信の方法

- ・洞爺湖有珠山ジオパークのホームページ

(内容) 洞爺湖ジオパークのホームページは、洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会が運営するウェブサイトで、6市町村の観光情報とリンクを図り、世界に向けて英語・中国語・韓国語・日本語の多言語で発信している。

<http://www16.ocn.ne.jp/~srtk-gp/shiratakiGPHP2008/index.htm>



(出典：洞爺湖有珠山ジオパークホームページより)

○観光地でのユニークな情報提供

- ・鳥取県・境港「水木しげるロード」にある妖怪饅頭の妖怪新聞

(内容) 特産品「妖怪饅頭」は、お土産として非常に人気で、旅行を終えてからも、「また食べたい」というリピーターが多い。人気の秘密は、包み紙で、新聞をイメージしたデザインには、地域ならではの情報が盛りだくさん書かれている。その情報は、購入する以外では読むことができず、観光客の発見や感動を誘導し、リピーター獲得に成功している。

<http://youkai.ocnk.net/>



(出典：妖怪饅頭ホームページより)

○視覚に訴える情報発信

- ・松山市デジタルサイネージ(※)で視覚的に情報を伝える仕組み

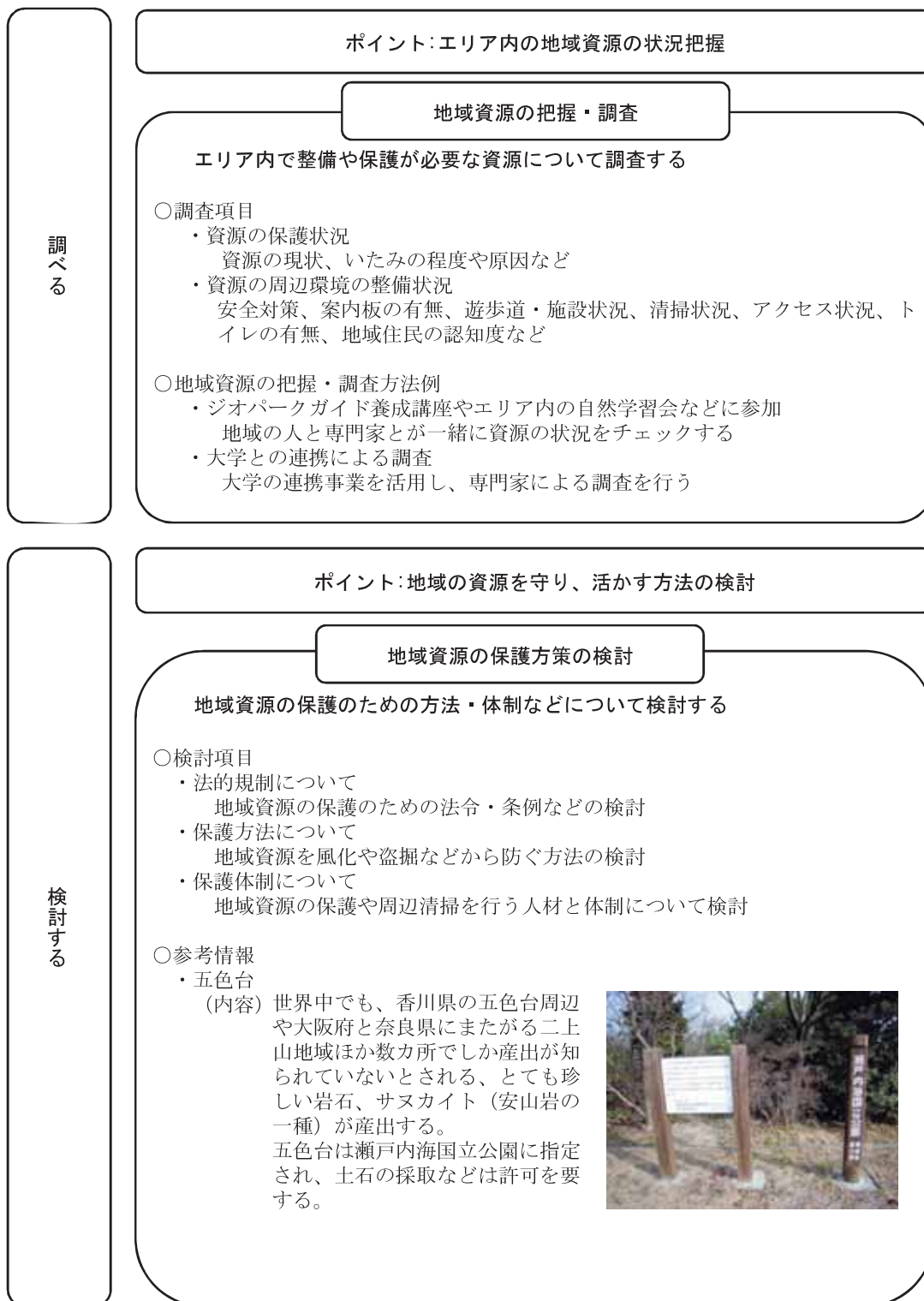
(内容) 松山市のバスターミナルなどには、地域のコマーシャルを見たり、地域情報を得ることができるデジタルサイネージが設置されている。タッチパネルで容易に操作することができ、地図情報を携帯に送ることなども可能である。

※デジタルサイネージ

表示と通信にデジタル技術を活用し、平面ディスプレイなどによって、映像や情報を表示する広告媒体。表示内容を多数、また必要に応じて切り替えることが出来るため、多様な映像広告を展開できる。現在は主に商業用途の広告や販促ツールとして使われているが、ホテルのコンシェルジュのような案内・相談ツール、学校や地域共同体でのコミュニケーションツールとしても使用が可能。

(6) 管理計画

○今後の取り組み



ハード整備の検討

エリア内で必要なハード整備について検討する

○検討項目

- ・必要な設備の洗い出し
- ・既存設備の修繕・利活用
- ・遊歩道、ビジターセンター、看板、トイレ、休憩所などの整備

○整備方法例

- ・統一されたデザインの案内看板

(内容) 先進事例調査を行ったカナウインカジオパークでは、申請前からデザインや色を統一した説明看板を域内に整備している。



○活用できる支援制度

- | | |
|--------|--|
| (事業名) | 指定文化財保存修理事業費補助金 |
| (概要) | 国指定文化財、県指定文化財の適正な保存管理と活用を図るための保存修理事業。 |
| (対象経費) | 指定文化財に関する保存修理事業、県指定文化財に関する保存管理計画策定事業、指定文化財に関する管理事業 |
| (対象団体) | 指定文化財の所有者又は管理団体 |
| (補助率) | 1/2以内 |
| (連絡先) | 香川県教育委員会生涯学習・文化財課
http://www.pref.kagawa.jp/kenkyoui/bunka/bunka/index.php |

- | | |
|--------|--|
| (事業名) | まちづくり交付金 |
| (概要) | 地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かしたまちづくりを行うことにより都市の再生を推進し、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図るための制度。 |
| (対象経費) | 施設・面整備、調査、提案事業等 |
| (対象団体) | 市町村(都市再生整備計画の作成が必要) |
| (補助率) | 原則4.5/10 |
| (連絡先) | 財団法人都市みらい推進機構
http://www.toshimirai.jp/index.html |

○施設案

- ・コミュニティカフェ

(内容) 地域の人と観光客がカフェという空間を利用して、まちづくりを考えたり、情報を集めたりする場所づくりを検討する。公民館などの既存施設の利用も可能。

- ・ポケットパーク

(内容) 地域の生活環境を良くすることを重視し、気軽に休める憩いの場として、道路わきや街区内の空き地などわずかの土地を利用した小さな公園またはトイレなどを完備する休憩所を整備する。

○参考事例

- ・東北大学 カフェ図書館 P l a t

(内容) 東北大学の学生グループ「仙台都市デザイン研究会」が公共図書館がない福島県桑折町の蚕糸工場跡地に、カフェと図書館が融合した施設「カフェ図書plat」を運営している。
<http://cafe-tosho.net/>

- ・カナウインカジオパーク 地域インフォメーションセンター

(内容) オーストラリアのカナウインカでは、公民館のような場所で、住民がボランティアスタッフをしながらその地域の情報を提供しているインフォメーションセンターがあった。

ポイント: 地域の資源を持続的に保護する

地域資源の保護

持続可能な維持管理体制を確立し、地域資源を保護する

○参考事例

・法的規制

－「四万十川条例」と「文化財保護法」（高知県 四万十川流域）

平成13年に環境をテーマとした魅力ある地域づくり、誇りある地域づくりを進めるよう市町村にまたがった条例を作っており、環境配慮指針等を定めている。また、この地域は全国で初めて複数自治体にまたがる流域全体で「重要文化的景観（※1）」として制定され、文化財保護法のもと、流域全体における保存・活用方法を模索している。

※1 重要文化的景観

地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地で我が国民の生活又は生業の理解のため欠くことのできないもの。

－ 日本一の鳥取砂丘を守り育てる条例（鳥取県）

県民共有の財産であり、世界に誇る地域の宝である鳥取砂丘を、砂丘利用者とともに守り育てていくため、県や砂丘利用者の責務、県の保護施策、利用者への規制などを含めた条例を定めた。

・保護方法

－ カナウインカの地域資源（鍾乳洞地形）を利用した公園

鍾乳洞特有のクレーターのような地形を利用して、公園を整備している。公園内は花であふれており、小動物も住んでいるため、観光客や地域の人の憩いの場として利用されている。



・保護体制

－ アドプトプログラム（※2）

香川県では「香川さわやかロード」として高松市を中心とした県道で104団体が活動している（平成19年3月1日現在）香川県からは、清掃用具・花の種の支給・作業警告版・作業用ベストなどの提供や、活動をPRする看板の設置・傷害保険の加入のサポートが受けられる。

<http://www.pref.kagawa.jp/douro/home/sawayaka/sawayaka.html>

※2 アドプトプログラム

地元企業や住民の皆さんが、地元の道路や川の土手のような公共物を自分たちの養子とみなし、定期的に空き缶拾いなどの清掃活動を行う、アメリカ生まれのボランティア制度。

－ 鳥取砂丘レンジャー（非常勤職員）

鳥取県では鳥取砂丘の地質、地形、植生、歴史などに関する解説指導や節度ある利用のための指導又は助言ができる人材を鳥取砂丘レンジャーとして平成21年3月から配置する予定（募集人数は2人）。

・保護費用

－ 新温泉町 新町「地域資源」保護育成基金創設プロジェクト

山陰ジオパークに含まれる新温泉町では、山陰海岸国立公園、ルーツ温泉（荒湯の高温自噴の天然性、歴史性）、バイカモ、杜氏、多くの先人等を新町の地域資源として指定し、その保護や育成のために関連するプロジェクトを支援する新たな基金を創設して『「地域資源」発信町』の実現をめざしている。